



木崎小学校 家庭学習の手引き

★家庭学習の目的

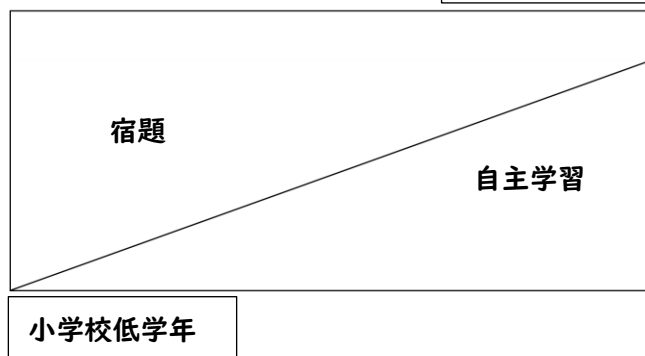
- コツコツ学習に取り組む習慣を身に付ける。
- 興味・関心を広げ、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。
- 自分に足りないもの、必要なものを考えられるようにする。
- 自分に合った学習方法を見付けられるようにする。
- 計画を立て、学習を調整できるようにする。

$$\text{家庭学習} = \text{宿題} + \text{自主学習}$$

家庭学習の時間

学年	学習時間の目安
低学年	20～30分
中学年	40～50分
高学年	60～70分

家庭学習の割合



高学年にいくにしたがって、家庭学習の割合を自主学習に重きが置けるようにしていこう！



家庭学習の進め方

学習の準備 ↓	学習を気持ちよく始めるために ○ゲームや音楽、テレビのスイッチを消す。 ○学習に必要なものを用意する。 
宿題 ↓	宿題に取り組む。 ★文字や数字はていねいに書く。 ★計算ドリルは自分で答え合わせをする。(1年生はおうちの人といっしょに) ・間違えたら ⇒ 答えを写すのではなく、もう1度解き直す。
自主学習 ↓	自主学習に取り組む。(自主学習ノートを準備する) (1) 日付、何をするか書く。 (2) 今日のめあてを書く。 (3) 見やすく(丁寧に)取り組む。 (4) 答えのあるものは必ず丸つけをする。間違えた問題はもう一度解いてみる。 (5) 振り返りを書く。 ☆PCで行ったもの・塾や市販の教材で行った場合は自主学習ノートに(1)と(4)を書く。
明日の準備	(1) 宿題・自主学習ノートを家の人に見せる。 (2) 時間割をそろえ、宿題や自主学習ノートをランドセルに入れる。 (3) 使ったものを片付け、机の上を整頓する。

学年によって、宿題と自主学習にかかる時間の配分は変わります。また、宿題の分量が多く、目安の時間以上にかかってしまった場合には、宿題のみでも構いません。

各学年で身に付けたい力

小学校入学

習慣付けの1年生

- ① ひらがな・カタカナが読み書きできる。
- ② 助詞（て・に・を・は）を適切に使い分けて文章が書ける。
- ③ 80字の配当漢字がすべて読み書きできる。
- ④ たし算・ひき算ができる。
- ⑤ 何時何分か時刻が読める。

継続目指す2年生

- ① 160字の配当漢字が全て読み書きできる。
- ② 順序良く話せる。
- ③ 主語と述語の意味と使い方が分かる。
- ④ かけ算九九がすらすら言える。
- ⑤ 桁をそろえて筆算ができる。
- ⑥ 直線が正しく引ける。
- ⑦ タブレットを使ってドリル学習ができる。

基礎を固める3年生

- ① 200字の配当漢字が全て読み書きできる。
- ② 国語辞典が正しく活用できる。
- ③ ローマ字を読み書きできる。
- ④ コンパスで円がかける。
- ⑤ はかりを使って重さが読める。
- ⑥ 方位や地図記号が分かる。
- ⑦ タブレットを使って、文字を入力できる。

楽しさ覚える4年生

- ① 202字の配当漢字が全て読み書きできる。
- ② 文同士のつながりを考えて指示語や接続語が使える。
- ③ ローマ字を正しく読み書きできる。
- ④ 漢字辞典が活用できる。
- ⑤ わり算の筆算ができる。
- ⑥ 分度器を正しく使うことができる。
- ⑦ 47都道府県の位置が分かる
- ⑧ 地図を使って調べることができる。
- ⑨ タブレットを使ってローマ字入力ができる。



努力がもの言う5年生

- ① 193字の配当漢字が全て読み書きできる。
- ② 既習の熟語が書ける。
- ③ 相手や場に応じて、敬語が使える。
- ④ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ⑤ 分数のたし算やひき算ができる。
- ⑥ 割合や百分率を使った問題が解ける。
- ⑦ ローマ字でキーボード入力ができ、インターネットを使って調べることができる。

学習計画を立てて取り組む

中学準備の6年生

- ① 小学校で修得すべき漢字の全てが読み書きできる。（1026文字）
- ② 小学校で習った熟語が読み書きできる。
- ③ 分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ④ 歴史上の事件や人物の説明がおおよそできる。
- ⑤ 世界のおよその国の位置や特徴が分かる
- ⑥ 理科の実験道具の正しい使い方が分かる。
- ⑦ ローマ字でキーボード入力ができ、インターネットを使って調べることができる。
- ⑧ 自分が調べたことをパソコンで効果的にまとめることができる。

小学校卒業

自律した学びの確立

【めあて】に沿った自主学習の例

【漢字を覚えたい】 ・漢字ドリルの「書く」のページを見て漢字を書く。 ・音読する。	【計算ができるようになりたい】 ・計算ドリルの問題にタイムを計って取り組む。(別の日のタイムと比べると成長が分かる。) ・教科書の問題を解く。
【読み取る力を付けたい】 ・段落の関係を図で表す。 ・人物の関係を図で表す。 ・叙述(教科書の言葉)から登場人物のどんな気持ちが分かるのか書きこむ。 ・筆者が伝えたいことは何で、それに対して自分はどうか考えるのかを書く。	【外国語を話せるようになりたい】 ・授業で学んだ言い方を使って、おうちの人にインタビューする。 ・学んだ言い方をおうちの人に聞いてもらう。
【作文力を付けたい】 ・作文、感想文、意見文、説明文などを書く。 ・本や新聞を読んで要約する。	【授業で学んだことが分かっているのか、できるようになっているのか確認したい】 ・教科書や計算ドリルの問題に取り組む。 ・実験方法や注意点、器具の使い方などを書く。 ・課題に対するまとめを自分の言葉で書く。
【語彙力(言葉の力)を付けたい】 ・意味調べ(国語以外の教科の言葉も○) ・音読 ・読書 ・新聞を読む。 ・言葉の学習(熟語集め、敬語、似た漢字集め)	【授業で学んだことを整理したい】 ・授業で書いたノートをわかりやすく書き直す。 ・物事の関係性を図・表・絵を使ってまとめる。 ・自分で年表を作って歴史の流れをまとめる。 ・歴史上の人物が、いつの時代に、何をしたか、他の人物との関係をまとめる。 ・自学ノートに歴史新聞を作ってみる。
【説明する力を付けたい】 ・どのように計算したのかを箇条書きや文章を使って説明する。 ・考えの理由を書く。(なぜその式にしたのかなど) ・本や新聞の資料からどんなことがわかるのか、それを受けて自分はどうか考えるのかを書く。	【授業でしたことをもっと深く学びたい】 ・授業で学んでいる物語文と同じ作者の本を読む。 ・同じ作者の本を読んで共通点を見つける。 ・実験で行ったことが日常生活の中でないか探し、体験する。

使用する教材の例

学校で購入しているもの	家庭で用意しているもの
・漢字、計算ドリル ・スタディサプリ(4年生以上) ・ドリルパーク ・教科書 ・ノート	・塾、通信教材のテキスト ・市販の問題集、参考書



※自主学習については、塾等で行っている学習を含めても構いません。また、学校で購入している教材以外のものに取り組むこともよいです。